

よこはまユースレター

発行/公益財団法人よこはまユース
tel.045-662-3716 fax.045-662-7645
URL <https://yokohama-youth.jp/>
Eメール soumu@yokohama-youth.jp



4年ぶりの開催!

野島クリスマスキャンプ

『野島クリスマスキャンプ 2023 オータムバージョン』が4年ぶりに開催されました。コロナ禍で長らく休止していた本事業ですが、今年は施設工事のため、日帰りで秋の実施となりました。本号では子どもたちも保護者も待ちに待った“クリキャン”を特集します。(11月4日/野島青少年研修センター)

*本事業は会員の皆様のご寄附によって実施しました



▲ライブではみんなで歌って踊って大盛り上がり!

野島クリスマスキャンプとは?

市内の個別支援学級に通う子どもとその保護者を対象に、20年以上続いている事業です。5月から実行委員が集まり準備を進めてきましたが、4年ぶりの開催のため参加者や当日ボランティアが集まるのが少し不安な部分もありました。しかし、当日はボランティアを含め総勢79人が研修センターで活動しました。

『サンタ島たんけん』へ出発!

開会式後はグループごとの自己紹介とレクで緊張を解き、子どもたちは「サンタ島たんけん」へ出発しました。宿泊室を回ってゲームをクリアしながらシールやプレゼントをゲットしていくという探検に、とてもワクワクした様子でした。特に盛り上がっていたのが輪投げです。自分の順番でない時はグループのメンバーを積極的に応援する様子が見られるなど一体感が生まれていました。

子どもたちが探検を楽しんでいる間、保護者は協力してクリスマスケーキを作りました。事後に実施したアンケートには「私が一番楽しんでいました」等の感想が見られ、保護者にとっても楽しく実りある事業になったようです。

探検の後はお楽しみのクリスマスディナー、最後は地域支援バンド「#0(シャープゼロ)」によるクリスマスライブです。ライブの終盤にはサンタさんも登場し、一足早いクリスマスプレゼントを届けてくれました。

学生ボランティアからは「子どもがもっと好きになった」など、嬉しい感想がたくさん届いています。交流することや体験することの大切さや意義を実感した事業でした。また、本事業は食材の提供をはじめ、多くの企業・団体の皆様にご協力をいただき実施できました。また来年、子どもたちの笑顔に会えることを楽しみにしています!

◆ご協力いただいた企業・団体の皆様(敬称略)◆

一般財団法人横浜市安全教育振興会/株式会社鳥勝
横浜市教育委員会/横浜市立小学校長会
横浜市立中学校長会/横浜市PTA連絡協議会

◆本事業に関するお問合せ先◆

野島青少年研修センター (TEL: 045-782-9169)

Thank you for your support.

ありがとうございました!

◆寄附金協力者(名前順、敬称略)

【団体名】

旭区子ども育成連絡協議会/(株)エイコープリント/神奈川区青少年指導員協議会/川本工業(株)協栄会
京浜サービス(株)/JX-ENEOS 野球部OB 会事務局/柴町内会第一カーボン(株)/(有)武牛乳店
三ツ境幼稚園/鶴見区子ども育成会連絡協議会/特定非営利活動法人ともに浜をつくる会/横浜商工会議所
西区子ども育成連絡協議会/野島de コグニサイズ/馬車道商店街協同組合/ブックオフオンライン
横浜市退職小学校長会/横浜市PTA連絡協議会/西区ジュニアリーダーズクラブ

【個人名】

飯家道子/石塚昇/岩崎享/内野貴彦/榎本文夫/太田京子/大槻恵津子/沖津淑子/恩田幸一/笠原光子
片岡喜久江/片岡祥/工藤春治/雲井耀一/酒井勝己/坂爪正博/佐藤雅亮/椎野雅子/重森幹子/清水桂子
新庄茂/須藤守之/榎野修一/武久美子/岳野万里夫/榎節子/出口晴基/中村輝次/中谷忠宏/南部剛志
野並直文/野村啓子/橋本康正/長谷川雅子/馬場洋一/濱倉公子/美藤愛/日比野政芳/古澤竜夫/
松井孝子/松井祐次郎/松本小寿恵/三橋ツネ/宮谷敦子

◆ご報告◆ 第62回

爆笑! 濱っ子寄席

(10月24日/磯内ホール大ホール)

今年も会場は爆笑の渦に包まれ大盛況でした。出演者の皆様をはじめ、多くの方にご支援・ご協力いただきありがとうございました。

*当日募金額: 111,747円



また来年の濱っ子寄席でお会いしましょう!

事業課

大学生と高校生が交流！『社会参画プロジェクト』

(10月20日)

大学生が「高校生に伝えたいこと」「高校生の抱える課題」を考え、高校生と交流する事業を企画運営し、その過程を通じて互いに成長し合うことや社会に参画する意義を感じてもらうことを目的に4月から実施しています。

当日は、横浜市立みなと総合高校でハロウィン交流イベントを実施しました。大学生が自身の経験をもとに進路や学校生活などについて発表するとともに、高校生の悩みや進路の相談に乗りました。高校生からは「進路について悩みを相談できてよかった」などの感想がありました。大学生は「一から企画し実行することは想像以上に大変だったが、高校生から喜んでもらえてすごくやりがいを感じられた」と達成感に満ちていました。



記憶に残る2日間に！『のじまふれあいキャンプ2023』

(9月16日～17日)

法人が運営する寄り添い型生活支援事業所に通う小中学生27人が参加しました。1日目の夕食作りは、買い出しから子どもたち主体で行い、「お肉コーナーはどこ？」「お得なのはどっち？」と皆で協力して食材を揃え、大人も合わせて45人分のカレーを作りました。2日目は「金沢水の日」という環境イベントに参加し、工作やゲームを通して、楽しみながら金沢区の自然について学びました。工作の作品を保護者にプレゼントした子どもも多かったようです。

子どもたちからは「皆で作ったカレーが美味しかった」「仲良くなった友達にまた会いたい」「来年も楽しみ」と感想が届いており、記憶に残る2日間になったようです。



青少年交流・活動支援スペース さくらリビング

青少年ボランティアが活動しました！

(10月29日・11月12日)

秋は多くの青少年ボランティアが活動しました。横浜マラソン給水ボランティアには、青少年19人が参加し「選手から『ありがとう』『尻長るよ』という言葉をもらい嬉しかった」「選手の笑顔を見ることができて良かった」と充実した素敵な日となりました。

なか区民まつりには、青少年15人がボランティアとして参加し、スタンプラリーの景品コーナーやワークショップなどのサポートを行いました。活動後、青少年からは「来場者の笑顔を見る度に心がほっこりした」「来年も参加したい」との感想があり大変楽しい活動となりました。



放課後キッズクラブ

今日も元気に！『ドッジボール大会』に向けて！

(12月13日)

「こっち！こっち！」「がんばれー！」「だいじょうぶ！」元気な子どもたちの声と審判を務めるスタッフのホイッスルが体育館に響き渡っています。岡村小学校放課後キッズクラブで、今、最も熱く盛り上がっているのがドッジボール。この日も楽しく真剣に活動していました。

岡村小キッズでは、今年で13回目を迎える「横浜市放課後合同ドッジボール大会」にエントリーをしました。低学年2チーム、高学年1チームが出場します。2月25日、横浜武道館での決勝大会に向けて、まずは磯子区の予選会突破を目指して練習を頑張っています。



横浜市青少年育成センター

『ユースワーカー養成講座 in よこはま』(9月9日～10日)

ユースワーカー全国協議会と連携し、青少年・若者に対する支援を行うユースワークの概論や価値観、自己理解などを学ぶ講座を開催しました。

参加者からは「日々の実践で自分が何を大切にしているのかを振り返るだけでなく、チームで共有することの大切さを学んだ。多様な若者との関わりの中で毎日、色々な場面に遭遇するので、その都度、ユースワークの価値観を意識し、実践につなげられるようにしていきたい」との感想がありました。

